



## 「災害に強いまちづくりを!!」



### 台風19号襲来!

### 避難所開設中!



10月12日  
新川氾濫の様子



## ～いざ!という時のために～

大雨により日本各地に甚大な被害をもたらした台風19号。西原小学校体育館も避難所を開設することとなり、3家族8人が不安な一夜を過ごした。これまで西原地区は災害の少ない所とどこか安心していたが、地域の中心を流れる新川からあふれ出した水が脅威となった。

加えて、10月13日に予定されていた西原地区体育祭も中止を余儀なくされた。

今年度の防災訓練は9月21日に行われた。8時半から、消防署の広報車が地域を回り、訓練への参加を呼びかけた。

初期消火、救出救護、土のう積み、煙道体験の4種類の訓練を第一会場(西原小学校校庭/23自治会)と第二会場(はなぶさ公園/5自治会)に分かれて、それぞれ体験した。新しい試みとして第二会場でも煙道体験を導入。また、福祉施設入居者の参加を希望したところ、2名の方が車椅子で体験した。はしご車で高さ50メートルまで上がる搭乗体験を行った4名の児童は「降りてくる時が怖かった」と話していた。

9月にも台風15号の暴風により千葉県で停電が長引き、現代の、電力に頼り切った生活を思い知ったばかり。災害に備え、数日間自力で生き延びる方法を準備したい。

毎年実施している防災訓練で得た知識や体験が実際の災害時に活かされるよう、個々が防災意識を高め、災害に強いまちづくりを目指そう。

### ★台風19号襲来と防災訓練

#### \*主な内容\*

- 表紙 防災訓練
- 2P 敬老会・ほたるまつり
- 3P 趣味ゆうゆう
- 4P 古を訪ねて
- 他



★敬老会



令和元年度の西原地区敬老会が、9月8日西原小学校体育館で行われた。

今年の対象者は1131名、最高齢者は南の里にお住いの小松正枝さん107歳。100歳を迎えられたのは2名、75歳を迎えた新敬老者は90名と、昨年より15名増えている。

受付は民生委員が、案内・誘導は福祉協力員、司会などはYCC西原の中高生がそれぞれ担当した。新敬老者代表のあいさつは斎藤恭輔さん（大黒町）が行った。

アトラクションは、昨年のいきいきライブで大人気だった、アコーデオン奏者の三好創（はじめ）さんによる「歌声広場」。馴染み深い曲ばかり8曲を、参加者はアコーデオンに合わせて思いつき歌っていた。



★ほたるまつり

6月22日、西原小学校の中庭で10回目のほたるまつりが行われた。

19時過ぎ、光を押しえた池の周囲に多くの住民が集まり、木々の間を飛び交う螢を見つけては喜ぶ子どもたちに心を和ませた。

今回のゲストは花房地区で結成された30周年を迎えた混声合唱団「コーラスはなぶさ」。暗がりの中で楽譜を見るために首にランタンを掛けた団員は「見上げてごらん夜の星を」や「栄光の架け橋」などを熱唱。観客は惜しみない拍手を送った。



◆いきいきライブで進化する大谷へ

今年度のいきいきライブは100名を超える参加者が毎回さまざまな企画内容を楽しんでいる。

10月9日の館外研修には43名が参加した。

バス1台で宝積寺駅前の「ちよつ蔵広場」に立ち寄り篠井の「若山牧場」へ。ロケの舞台にもなっている竹林の中をガイドの案内で散策後、「ロマンチック村」で昼食を摂り、大谷へ向かった。

大谷は来春、新規観光拠点として大きく変貌を遂げる予定で、観光客が増えている。ほとんどの人が何度か訪れているが、大谷の魅力を再発見して有意義な研修になった。



◎デイサービスセンターにしはらの事業休止について

地域の人たちの手で開設されて以来25年間、社会福祉事業として通所介護支援、在宅介護支援事業を実施してきた「デイサービスセンターにしはら」だが、諸般の事情により、本年9月30日をもって休止された。

今後は、「地域支えあいのまちづくり」のため、西原地区の福祉の拠点施設として活用できるよう検討していくことになった。





後期行事案内

- 11月16日(土) コミセン展示会
- 17日(日) 地域PTA文化祭
- 1月12日(日) どんど焼き
- 2月2日(日) 福祉まつり



★納涼祭

8月17日、西原音頭納涼祭が西原小学校庭で行われた。

今年は、鳥山信用金庫の皆さんが揃いの浴衣をきて初参加。育成会の参加が減少する中、地元企業の参加にも期待したい。

また、小学生が「よさこい踊り」やテンポのはやい「パプリカ」「USA」などを何度も元気に踊った。まさにBON DANCE! 納涼祭にも令和の新しい風が吹き込んでいる。



◇西原地区

各種団体の紹介

63号に続き、西原地域の行事に関わりのある団体を紹介します。

●中央交通安全協会西原支部

支部長 佐藤 功

- ・各種行事における立哨と駐車場係
- ・春秋の交通安全運動協力

●YCC西原(ヤングコミュニティクラブ)

サポーター代表 長尾 恵子

- ・敬老会協力・文化祭参加
- ・どんど焼きのお飾り分別作業
- ・新川校並木清掃

●健康づくり推進員会

会長 増淵 祥子

- ・地域住民の健康づくり支援
- ・文化祭での体力測定や食育活動

西原地域コミュニティ協議会には、これまで紹介した団体の他に、

・西原小学校PTA

・保護司会

・リサイクル推進員

・消防第2分団

が含まれますが、今回をもって掲載は終了します。



●趣味ゆうゆう

《カリグラフィ》

石川 幸枝 (伊賀町北部)





# あいあいサイト

## ◆リサイクル推進員見学会

9月10日、リサイクル推進員恒例の見学会で、廃食油をリサイクルして商品を製造している佐野市の会社「吉川油脂」を見学した。

一般家庭で出た廃食油をベクトボトルに入れて回収するとう、行政とのタイアップ事業も行われており、県の廃棄物対策課の方から詳しく説明があった。参加者24名はヘルメットに長ぐつ姿で敷地内を見学した。



## ◆西原キャンプ

8月31日～9月1日、茨城県銚田市のとちぎ海浜自然の家で子連のキャンプが行われた。

参加者は4～6年児童45名役員16名。大洗の水族館を見学し、銚田海岸にてなぎさ活動を行い、波と砂浜を堪能した。



夜はキャンプファイアーで歌ったり踊ったりと盛りだくさんの一日を過ごした。2日目は屋外でシーフードカレーづくりに取り組んだ。たきぎの煙と、玉ねぎ切りで目をしょぼつかせながら、おいしいカレーを作り上げ何杯もおかわりした。2日間、大自然に囲まれ活動して、みんな日焼けして、一段とたくましく成長した。



## ◆にしはらお囃子会

### 二荒山で奉納太鼓

日光男体山登拝大祭奉納行事のひとつ「扇的弓道大会」の場で8月4日、にしはらお囃子会が奉納太鼓の演奏を行った。

炎天下、二荒山の神社前で児童6名が交替しながらバチをふるった。

袴姿の弓道選手や観光客が足を止め演奏に聴き入っていた。10年以上前から行われているそうだが、名高い観光地で披露できることは、とても誇らしいことである。



【あとがき】今年の猛暑は、凄まじかった。熱中症計数が高く子供たちは外で遊べなかつたそうだ。クローラーにあたりながら、たくましく伸びる雑草を眺めていたら出会った2人の100歳が目に浮かんだ。

## いにしえ 古を訪ねて

### 「近所の優しさに包まれて」

花園町 宇塚 礼さん



大正9年生まれのお塚礼さんは、昭和19年に太田から宇都宮に移転してきた中島飛行機（現 富士重工）に勤めるご主人と当時社宅だった花園町に住み始めた。終戦後、電気が通らなかつたときに、飛行機に使う防風ガラスのきれはしに芯をつけロウソク代わりに使ったそうだ。近所や親せきにも配ると喜ばれた。物もなく食べ物も配給で大変な時代だったが「皆も同じ、そういうものだと思って耐え忍んだ」と話す。子供の頃から着物一筋を通して自分の着物は全て手縫いだ。白い半襟に割烹着を付け凛とした姿はとても100歳になるとは思えない。

書物が好きで、息子さんが買ってくる文藝春秋や新聞は毎日読んでいます。

6時半に起床し、みそ汁とぬか漬けの朝ごはん1日が始まる。3食を自分で作り、塩分たっぷり濃い味付けが好きだ。最近では減塩志向だが「少々気にしすぎでは」と笑う。

今まで床に伏したことはない。東日本大震災の折、玄関で右手を骨折して10日間の入院をしただけだ。「丈夫な体に産んでくれた親に感謝です」と話す。

茶の間にはひ孫の画像が流れ、離れて住む家族の案ずる思いが届く。長年住む近隣からは、けんちん汁や旬のもののお裾分けが届き、雨の日にはゴミだしにも来てくれる。「地元生まれで気心の知れたご近所の親切に支えられています」と眼に涙がにじんだ。